
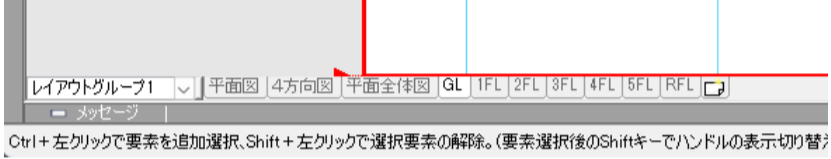

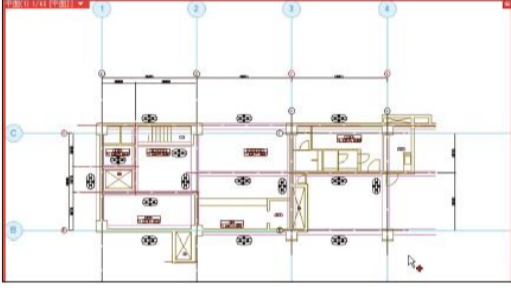


## 『Rebroトレーニングブック』訂正表

該当ページ	誤	正
p6	ダウンロードファイル (.reb / <u>.ife</u> )	ダウンロードファイル (.reb / <u>.ifc</u> )
p 20	縮尺は、[右面] ビュー名のプルダウンをクリックし、メニューから「縮尺の変更」を選択します。	縮尺は、[右面] ビュー名のプルダウンをクリックし、 <b>メニューの「縮尺の変更」から選択するか、数値入力で変更することができます。</b>
p30	[Ctrlキー] または [Shiftキー] を押すと、カーソルについて「 <u>-</u> 」マークと「 <u>+</u> 」マークを切り替えることができます。	[Ctrlキー] または [Shiftキー] を押すと、カーソルについて「 <b>+</b> 」マークと「 <b>-</b> 」マークを切り替えることができます。
p56		<b>画像変更</b> 
p85		<b>強調の囲み削除</b> 
p 150	順にボックスの中心、ダクトの線上点、ダクトの交点、ボックスの端点でクリックしていきます。ボックスの端点までクリックできたら、右クリックでコンテキストメニューを表示させ、「確定」をクリックします。	順に <b>ボックスの中心、ダクトの端点、ダクトの交点、ボックスの端点</b> でクリックしていきます。ボックスの端点までクリックできたら、右クリックでコンテキストメニューを表示させ、「確定」をクリックします。
p 158	ページ下に追加	<b>！ 隠線処理の範囲を指定したり、隠線表現を部分的に変更したりする場合は、 「自動隠線」 コマンドをOFFにし、「手動隠線」コマンドをONにして手動で隠線処理を行います。</b>
p 180	青色のハンドルをクリックし、カーソルを右へ動かします。	青色のハンドルをクリックし、カーソルを右へ動かし、 <b>クリックして移動を完了 します。</b>
p 182	何もないところで右クリックしてコンテキストメニューを閉じます。そのままカーソルを左に動かし、下の画像のような状態になるところまで移動します。	何もないところでクリックしてコンテキストメニューを閉じます。そのままカーソルを <b>左に</b> 少し動かし、下の画像のような状態になるところまで移動します。
p 229	① [対象要素] 欄は、「追加」をクリックすると対象要素を追加することができます。② [詳細表示] を開くと、③ [ステータス] も追記できます。	① [対象要素] 欄では、「追加」をクリックしたあと、 <b>さらに対象要素をクリックし、確定すると登録されます。</b> ② [詳細表示] を開くと、③ [ステータス] も追記できます。
p246	「断面図C-C」ビューは、 「断面図A-A」ビューと揃えます。	<b>「断面図B-B」</b> ビューは、 「断面図A-A」ビューと揃えます。
p249	見えにくい箇所は、アラウンドビューを使用してつなげていきましょう。表示したい箇所を右ドラッグで選択し、右クリックでコンテキストメニューを表示させ、「アラウンドビュー」を選択します。	見えにくい箇所は、アラウンドビューを使用してつなげていきましょう。表示したい箇所を <b>左ドラッグしながら、「Spaceキー」を押します。</b> 右クリックでコンテキストメニューを表示させ、「アラウンドビュー」を選択します。

p295	聞いたデータを	開いたデータを
p 298	[レイアウトの作成] ダイアログが表示されます。① 名前を「空調」と入力し、② [新しく用紙サイズを指定する] を選択します。③ 用紙を [A 3] に設定し、④ [平面ビューを作成する] にチェックを入れ、⑤ 縮尺は、「50」と設定したら、[OK] をクリックします。	[レイアウトの作成] ダイアログが表示されます。① 名前を「空調」と入力し、② [新しく用紙サイズを指定する] を選択します。③ 用紙を [A 3] に設定し、④ [平面ビューを作成する] にチェックを入れ、⑤ 縮尺は、「50」と設定したら、⑥ 「ビュー名をレイアウト名と同じにする」にチェックを入れ、[OK] をクリックします。
p 303	[平面詳細図] グループと [3D] グループは、[表示]アイコンの [非検索] アイコンにします。[Ctrlキー] を押しながら [平面詳細図] グループと [3D] グループを選択します。[平面詳細図] グループの [検索] アイコンをクリックし一括で [非検索] アイコンに切り替えます。	[平面詳細図] グループと [3D] グループは、 <b>削除</b> [非検索] アイコンにします。[Ctrlキー] を押しながら [平面詳細図] グループと [3D] グループを選択します。[平面詳細図] グループの [検索] アイコンをクリックし一括で [非検索] アイコンに切り替えます。
p 327	[平面詳細図] グループと [3D] グループを <u>表示の非検索</u> の状態に、その他は非表示に設定します。	[平面詳細図] グループと [3D] グループを <b>[表示] アイコンと [非検索] アイコン</b> の状態に、その他は非表示に設定します。
p 353	[レイアウトを別ファイルとして保存] ダイアログが表示されます。 [空調] にチェックを入れ、[OK] をクリックすると、別ファイルとして保存することができます。	[レイアウトを別ファイルとして保存] ダイアログが表示されます。 [空調] にチェックを入れ、[OK] をクリックすると、別ファイルとして保存することができます。 <b>今回は確認のため [×] 印をクリックします。</b>
p 354	! 建築CADで読み込むとRebroのスリーブ情報を反映させることができます。	! <b>こちらで保存したデータは</b> 、建築CADで読み込むとRebroのスリーブ情報を反映させることができます。
p360	[空調]レイヤーで確認を行います。	[空調] <b>レイアウト</b> で確認を行います。
p20,60,61, 245,247,279, 300,338,343, 359,385,386, 387,389	〇〇ビュー名のプルダウンをクリックし、 <u>コンテキストメニュー</u> から [〇〇]を選択します。	〇〇ビュー名のプルダウンをクリックし、 <b>メニュー</b> から [〇〇]を選択します。  ※文脈は異なる場合があります。

※訂正表は、下記URL（出版文化社ホームページ）からダウンロードできます。  
右の二次元コードからも接続可能です。  
※そのほかに誤りがあった際は、下記URLに追加の訂正表をアップいたします。

<https://qr.paps.jp/zQ9ld>

